

高度イノベーション博士人財育成プログラム

(実施期間：平成 21～25 年度)

実施機関：東北大学（総括責任者：里見 進）

プロジェクトの概要

全学的組織として「高度イノベーション博士人財育成センター」を設置し、博士課程（後期）学生、ポスドク養成のための実践プログラムを構築する。実践プログラムは、「キャリアパス多様化促進事業」の中で進めてきた「高度技術経営塾」の成果を発展・展開させた「実務応用力」と「人間力」を付加する「博士人財育成プログラム（Ⅰ）」と、国内外企業等での長期インターンシップによる「実践力」を付与する「博士人財育成プログラム（Ⅱ）」からなる。

企業の現役やOBを講師とするプログラム（Ⅰ）は、「実務応用力」養成では講義とケーススタディおよびグループ討論、「人間力」養成では「合宿討議」を含めた内容となっている。

あらたに「インターン推進室」を設置して推進するプログラム（Ⅱ）は、国内外の企業等での長期インターンシップにより、研究成果をイノベーション創出につなげる「実践力」について研修する。このシステムにより、「わかる・できる・うごける・うごかせる」人材の育成を目指す。

さらに、博士人財のキャリアパスを支援する「キャリア支援室」を設置して、学部学生や修士学生を支援する既設組織の「キャリア支援センター」と連携して、学内外に対し、ワンストップサービス窓口体制を構築し、博士に対する出口支援の質的向上を図る。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	イノベーション人材養成システム改革状況	実践プログラムの開発・運用状況	実施体制	今後の進め方
A	a	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

中間評価時の東日本大震災の影響による事業の遅れを取り戻し、総長の明快なビジョンのもと、大学全体の博士人材養成の重要性とそれに対応した教員、博士人材の意識改革、組織運営を明確にし、自然科学系全体に事業を展開した。全学的にプログラムが認知された結果、応募者が増加し、養成者目標数をほぼ達成した。構築したカリキュラムの一部が大学院の講義として単位化され、本事業を新組織体制である「高度教養教育・学生支援機構」への統合による業務の承継につなげたことは評価できる。東北地方の他大学との連携を深めた事業展開を期待する。

・**目標達成度**：博士課程（後期）教育システム改革、キャリア支援体制を機関として構築し、震災と復興という想定外の状況下での中間評価以降、全学的な意識改革活動を行い、本事業への応募者数の増加に導いたことは評価できる。また、長期取組受入企業の開拓を行い、最終的に養成

者目標数に近い実績を達成した。特にPD長期取組修了者の多くを民間企業に輩出し産業界に貢献したことは評価できる。高度技術経営塾は、PD/DCが産業界で必要な知識、スキルの修得に役立っている。今後は、東北大学の規模、博士人材の在籍数から考えて、より高いレベルの目標を設定していただきたい。

・**イノベーション人材養成システム改革状況**：初期に工学系を中心として構築し実施したプログラムを理学系をはじめとする自然科学系全体に展開し、教員の巻き込み・意識改革に成功し、平成24年度、25年度の被養成者の高い伸びを実現し、着実に改革を進めている。5年間かけて整備したシステムを、総長のリーダーシップの下、プログラム終了後も継続運営する準備ができていることは評価できる。今後、さらに震災地域のアカデミアの核としての役割を期待する。

・**実践プログラムの開発・運用状況**：高度技術経営塾等と連携し効果的な博士人材養成プログラムを開発し、キャリア支援登録制度等との相乗効果により学内での認知を高め、本事業への参加者を増大させた。中間評価時点では長期取組のなかった生命、農学系にも展開し、企業等の開拓も進め、プログラム開発・運用の成果をあげたことは評価できる。さらに独創性の高い方法、大学を特徴づける取組に発展させ、全学に広げることを望む。

・**実施体制**：中間評価後、総長のリーダーシップ、教育担当理事の強力な指導の下に体制を強化し、事業を進め、実効性を担保した。現役教授を副センター長に任命し、かつ、兼務教員、企画事務スタッフを増員することで、大学全体として戦略的な体制の下で本プログラムを学内に普及させたことは評価できる。

・**今後の進め方**：新たに設置した高度教養教育・学生支援機構に本事業を高度イノベーション博士人財ユニットとして組み込み、継続・発展させている。また、イノベーション創発塾を創設して東北地区のアカデミアの中心として東北復興を目指すという計画は評価できる。震災地域全体を底上げする様なプログラムとなることを期待する。今後、事業が東北大学内、地域企業等との連携にとどまらず、東北の中核大学として地域の他大学との連携を進めるとともに、リーディング大学院プログラムとの連携も含め、全国的展開、また、グローバルなイノベーション人材養成の視点での取組を推進することを期待する。